業界・行政ニュース

各務原市

前渡地区新公園 起工式を開く

各務原市の前渡地区（木曽川右岸）に整備する新公園の起工式が15日、同市の浅野健司市長や関係者ら約20人が出席して行われ、12月オープンに向けた工事の安全を祈願した。

浅野市長は、あいさつの中で「計画から足掛け10年でやっとここまで来た。BMXパーク、デイグランピング施設など、近隣にない施設によって地域ににぎわいが生まれる」と喜んだ。

新設する公園は、各務原浄化センター西側の約2万平方メートルに整備する。基盤整備は完了しており、2023年度にPark-PFIの事業者として決まった蔦井（名古屋市西区）、スペース（東京都中央区）、オノコム（東京都千代田区）の3社で構成する「各務原トライアングル共同企業体」が、12月の開業予定で施設を整備する。

JVを代表する蔦井の熊田光男社長は「改めて身が引き締まる思い。しっかりと建設、運営を行っていく」とした。

全体鳥瞰イメージ（提供／スペース）